Minshin Press
The Democratic Party
民進

号外
2018.年 春号
民進党 民進プレス編集部
〒100-0014
東京都千代田区永田町1-11-1
電話 03-3595-9988(代表)
メール press@minshin.or.jp
URL https://www.minshin.or.jp/

【連絡先】
民進党参議院比例区第 37 総支部
参議院議員　大島九州男

□東京都千代田区永田町 2-1-1
参議院議員会館９１０号室
電話 03-6550-0910

☑福岡県直方市感田 1466-3
電話 0949-28-8162

国会議員として 10 年。

直方市議会議員に当選させて頂いたのが一九九〇年29才の年、それから三期十二年地元の皆さんにお支え頂いて、議員の基本をご指導頂きました。

「奉仕と無の心」

この言葉が初代後援会長から頂いたスローガンでした。この言葉の意味も分からず、がむしゃらに三期務めさせて頂いて、当時の総務大臣であった麻生前総理との二度の衆議院総選挙の挑戦。自分がやらなければ、との強い使命感。

選択肢の無い選挙は、有権者にとっても地域にとっても良くないことだとの思いから、周囲には無謀な戦いと指摘されながらも、多くの皆さんに支えられて、精一杯取り組みさせて頂きました。その経験は、私に多くの学びと沢山の人との出会いを与えて下さいました。

今があるのもその出会いのお陰様です。四年間の修行の時を頂いて、二〇〇七年全国の皆さんのご支援のお陰様で、参議院選挙全国比例選挙初当選。二〇一三年二期目の当選。あっという間の十年間でした。

二〇〇九年政権交代を経験させて頂いてから、東日本大震災。未曾有の震災で福島復興推進会議の事務局長として、現場と官邸、官僚との調整で多くのことを学ばせて頂きました。まだまだ復興は道半ば、現在も民進党福島復興・原発事故対策本部の事務局長をさせて頂いています。この頂いた重要な使命を全うし、引き続き被災地の皆さんと一緒に歩んでいきたいと思います。

今この混沌とした政治状況だからこそ、私の使命は何なのかを問い詰めていくと、原点にある国民のための「奉仕と無の心」を実践させて頂くこと。それは、政党や政治家の都合や欲で国民を惑わすことの無い真の国民のための真の政治。

そんな国民の安寧を実現する政治は、国家、国民の苦を取り除くこと。そのためには、偏りの無い中道の政治の実現を成し遂げなければ成りません。

その道は、八正道の実践。正見、正思惟、正語、正業、正命、正精進、正念、正定。

「政策決定していく基本を」

国民のための正しい見方で、国民を思う心で、私利私欲無く語り、ありのままに世のため人のためになる事を願いつつ正しく仕事をこつこつ積み重ね、常に変化する時代に、自分の使命に気付き、実践することが私の使命と受け止めています。

これから訪れる様々な変化に、ありのままに流れに流されながらも、流れを変えていけるそんな政治家になるべく、今後とも精進させて頂く事を皆さんにお誓いします。

地元　直方市の福智山

参議院議員
大島九州男

大島九州男　プロフィール

1961 年　福岡県直方市に生まれる。
1980 年　日本大学第二高等学校卒業。
1984 年　日本大学法学部政治経済学科卒業。
1984 年　地元福岡に帰り家業の大島鐵工株式会社に従事。
1985 年　九誠を設立し学習塾、テニス教室を開校する。
1991 年　直方市議会議員に初当選。その後 3 期連続当選。
　　2003 年 2005 年と衆議院総選挙に出馬するが惜敗。
2007 年　参議院議員（比例代表）に初当選。
2013 年　参議院議員（比例代表）に２期目の当選。

［現在の役職］（2017.12.31 現在）
参議院　文教科学委員会・委員、予算委員会・委員
　　国際経済・外交に関する調査会・理事

○参議院委員会等の主な経歴
内閣委員会・委員長
予算委員会、決算委員会、経済産業委員会、行政監視委員会、
東日本大震災復興特別委員会、災害対策特別委員会、総務委員会、
厚生労働委員会、議院運営委員会、憲法審査会

○民進党役員の主な経歴
副幹事長、ネクスト復興大臣、企業団体副委員長

●**名前の由来：**高知在住の父親の姉に子どもが生まれた際に「土佐男＝とさお」と名付けられたので、今度、大島家に男の子生まれたら「九州男＝くすお」にしようと父親が考えていた。
●**血液型：**O 型
●**座右の銘：**天道を生きる

大島 九州男が　10 年取り組んだ　これまでの主な活動。

●平和への取り組み

参議院　憲法審査会　委員

文教科学委員会にて
安倍総理へ憲法解釈の質疑を行う

安倍総理に対して
時代の流れに流動的に対応した
正しい道を進むため
国民の声をしっかり受け止めて
内閣の運営をして頂くことを
強く要望する。

自衛隊の存在を**憲法９条**に明記する安倍改憲提案の**問題点**

【問題点①】明文化された自衛隊は、現在の自衛隊ではなくなる！
追記される自衛隊は「専守防衛に限定された自衛隊」とは違う。
2015 年制定の安保法案の制限を超える自衛隊の存在になる。

【問題点②】2015 年制定の安保法制が合憲化に！
さらに、９条１項，２項が空文化される！
後法優先という法の原則から、追加された項の内容が
９条１項、２項と矛盾・抵触した場合…
９条１項、２項はその意味を失うか修正され空文化をされる

【問題点③】改憲ではない加憲はない!!
9 条 1 項、2 項を維持しつつ自衛隊を付け加える「加憲」は
改憲の一種。自衛隊が戦争のできる自衛隊になってしまう。

●震災復興

2011 年 民主党政権 当時

幹事長室 および **宮城県対策室** を兼務

- ●水産加工業者との取り組み
- ●風評被害への取り組み
- ●ビニールハウス支援　などに尽力

福島復興推進会議　事務局長（当時）

輿石幹事長（当時）から
福島県の制度と現実の谷間を埋める
ように指示を受ける

各省庁と協議を重ね
『津波・原子力災害被災地域
雇用創出企業立地補助金』制度の
新設を**実現**する。

2016-2017
民進党ネクスト復興　副大臣
として現在も復興政策と地域発展に携わる。

福島復興会議
・福島復興会議の立ち上げに関わる。
・行政、各団体との協議の場として、
事務局長の立場から会議を取り仕切る。

主な具体的な取り組み
- ●再生可能エネルギーの推進
- ●八重の桜プロジェクト
- ●高速道路(白川インターチェンジ)の無償化

●教育への取り組み

剣山型社会の提唱

剣山の針は皆高さが同じように、
人材もまた皆尊く同じ高さである。
大学へ行く事だけが評価されるよう
なことは誤解であり、アカデミック
な人も職人であるプロフェッショナ
ルな人も皆同じで、この社会は構成
されている。

10 年がかりで取り組んだ法律が成立

専門職大学を創設する法案
高度な実践力＋豊かな創造力＝専門職業人の養成を目的とする
新たな高等教育機関の設立に尽力

教育無償化法案

● 民進党議員立法「教育無償化法案」のイメージ ●

	教育の無償化等					奨学金制度		
	就学前教育		義務教育	高校等	大学等	給付型	無利子型	有利子型
	0-2 歳	3-5 歳						
現在	有償	有償	無償（国公立）	所得制限付き 無償	有償	有り ※限定的	有り ※限定的	有り
法律施行				無償等 所得制限なし			有り	廃止
無償化法		無償等						
無償化到達点					無償等			

2018 年　通常国会　文教科学関係法案

１月召集の通常国会で、文教科学省からの主な提出予定法案

●著作権法改正案
デジタル化等、新しい時代に対応した柔軟な権利制限規定の法制化

●学校教育法等改正案
新学習指導要領に基づく教科書に対応したデジタル教科書に関する法改正

●文部科学省設置法改正案
文化庁の京都移転・機能強化に関する法改正

●文化財保護法等改正案
文化財の活用に向けた法改正

『地域の皆様との勉強会』を各地で開催中

参議院議員として国政に携わった十年の取り組みや、現在の政治情勢などの報告を中心に勉強会を開催しています。本年も、大島九州男の国政報告会や意見交換会などの勉強会を、**皆さんの地域でも行う予定**です。近隣で開催の際は、お気軽に是非ご参加ください。

「勉強会」開催場所 募集
勉強会をご希望の方は、大島九州男事務所までお声かけください。
大島九州男が、全国どこでも足を運びます。皆様のお声を聞かせてください。